

すおうおおしま男女共同参画プラン（案）に対するパブリックコメントの実施結果

1 意見募集期間 令和8年1月15日（木）から令和8年2月16日（月）

2 意見の件数 2名22件

3 意見の内容と意見に対する町の考え方

No	意見・情報等の内容	町の考え方・対応案
1	<p>[16 ページから 18 ページ：5 本町の男女共同参画を推進するためのこれまでの取組]全体に関し</p> <p>一般的に女性は、家事や育児に加え、地域行事や学校行事への参加など多くの役割を担っており、優先順位の関係から仕事に集中して取り組むことが難しい現状があります。これまで培ってきた経験や知識、人脈を十分に生かせず、労働者を「人財」として適材適所で育成できない企業風土も一因ではありますが、それ以上に、女性が「活躍したいと思っても活躍できない環境」に大きな課題があると考えます。</p> <p>特に妊娠・出産に関しては、周防大島には出産可能な医療機関がなく、里帰り出産を選択せざるを得ないため、早期から産前休暇に入る必要があります。</p> <p>また、産休・育休後も子どもの世話を最優先することから、積極的に仕事へ関わることを躊躇してしまう女性労働者も少なくないと感じています。</p> <p>こうした背景から、託児所や小児科、保育園、学童保育の充実が極めて重要です。</p> <p>特に、日祝や病児保育などの体制が全くないのも、産後の正規雇用で働き続けるハードルを上げているとも言えるかと思えます。</p> <p>また、夫やパートナーが家事・育児を平等に担い、男女ともに仕事と家庭を両立できる環境を整えるために、地域、行政、労働者、経営者が同じ方向性を持ち、意識改革を促す推進・指導を行う取り組みは急務であると考えます。</p>	<p>これまでの取組に関して貴重なご意見をいただきありがとうございます。さらなる課題の改善や施策の充実に向けて尽力する必要があると認識しております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただくとともに、より良い施策の実現を目指してまいります。</p>

リモートワークやフレックスタイム制の導入に加え、女性管理職の登用、女性がいきいきと働ける職場づくりを支えるバックアップ体制の構築も不可欠です。例えば、夫やパートナーが会社に気兼ねすることなく育児や家事に専念できるように、職場制度の改革を進める必要があります。（ワーク・ライフ・バランスの啓発）また、いまだに職場上司（男性）から、時代錯誤的なマタハラ、セクハラの言動があることも、目をつぶっている実態があり、民間企業でのコンプライアンス研修、女性活躍の機運を自治体から民間企業に査察に入る、アンケートを取るなどして指導、教育、賞罰（労働局管轄かもしれませんが）などを積極的にしていく事を目に見える形で実施できればと考えます。

言いたくても言えない、どこに言っても何も変わらない、言ったら不利益を被るのでは、と思って何もできず我慢している方が非常に多い中、自治体が主導権を持ち、女性や性マイノリティの方に寄り添い、社会生活、自立できる体制構築に尽力していただきたいと強く願います。

自治体、民間企業、地域社会が一体となり、地方だからこそできる形で意識を高めていくことが重要です。これらの取り組みは、島外への労働者流出を防ぐだけでなく、若い世代や子育て世代の移住促進にもつながる重要な要素であると考えます。

さまざまな国や地域で暮らし、都市部から移住してきた経験があるからこそ、地方の良さや地域の人々の温かさ、困ったときに気兼ねなく頼り合える周防大島の素晴らしさを、今後さらに生かしていきたいと考えています。

更に、私の妻からの意見ではございますが、他県で出産育児を経験し産後とても救いになったサービスをご紹介します。北海道小樽市の女性支援センターでは、2歳までの子供の無料託児付きで低価格でのパン教室や料理教室（子供の食育にも繋がる）に通っておりました。産後24時間育児の体制は、子供中心の生活で、自分の事を後回しにするあま

		<p>り、自分は何が好きで何をしたいのか、自分という個性を見失いがちになりました。そんな中、子供との距離を持ち、家計に負担のかからない範囲での大人だけの交流や会話、作業は、自分という存在を取り戻してくれて、更には知識や技術をつけるきっかけにもなったので、大変良い行政のサービスだったと話しておりました。</p> <p>家庭や家族の事を最優先にすることは、決して悪い事ではなく、自然な流れであり、その考えがあるからこそ、幸せな人生が歩めるものかと思います。ただ、そこに行政のサポートがあると、一時は100%の力を子育てに注ぎ込んだとしても、今後に繋がる関係性や交流によって、社会に復帰しやすく自分自身を見失わずに活躍していく事ができるのではないのでしょうか。</p> <p>参考になればと思い妻の意見も追記させていただきました。 どうぞよろしくお願いいたします。</p>	
2	<p>P18 親子ふれあいスポーツや参観日等各種学校行事を通して、親子のふれあいを深めること、就学前健康診断時に子育て相談会を行うことで家庭教育に関する啓発を行うこと</p>	<p>これらが、どのように男女共同参画に寄与するのでしょうか？</p>	<p>以下の観点から男女共同参画社会の推進に寄与するものと考えます。</p> <p>1. 共に支え合う社会の推進 親子ふれあいスポーツや参観日といった社会的参加の場を設け、子育てに関わるさまざまな人が積極的に育児や家庭生活に関わる機会を提供することは、男女にかかわらず共に支え合う社会の推進につながると考えます。</p> <p>2. 家庭教育や子育てに対する多様な支援の提供 就学前健康診断時に実施する子育て相談会では、家庭教育や子育てに関する支援を提供することで、男女問わず保護者が安心して子育てに参加できる環境を整えることを目指しています。</p>
3	<p>P18 人口が減少する中</p>	<p>全ての施策は人口減少の中で展開していると思いますが、ここであえて人口減少に触れるのはなぜですか？活動が減少しないように工夫を凝らすとは、どのようなことをされているのでしょうか？</p>	<p>ご指摘を踏まえ、「人口が減少する中」を削除しました。</p> <p>また、活動が減少しないための工夫として、講座内容の充実に努めています。幅広い世代や興味に対応するため、趣味や教養を深める講座のほか、高齢者に優しく若者も参加しやすい実生活で役立つスキルを学ぶ内容を積極的に導入</p>

			しています。例えば、健康に関する講座のほか、交通安全や防犯に関する講座など、地域のニーズに即した内容を設定しています。
4	P19 本町の地域特性を考慮し～ 取り組みを進めていきます	本意ではないと思いつつ、これまでの男女の役割意識に基づくこれまでの生き方や地域の文化や活動を尊重しながら、というようにも捉えられます。誤解のない明確な表現はできませんか？	ご指摘を踏まえ、「これまで地域で育まれてきた人と人とのつながりや、地域の文化や活動などを尊重しながら、日常の中で当たり前となっている一人ひとりの努力や支えに気づき、互いに感謝し合うことを大切にしたい取組を進めていきます。」と修正しました。
5	P26 政治経済活動の場における男女の地域が平等だと思う人の割合 P31 就職の機会や職場での男女の地位が平等であると思う人の割合 P46 健康寿命 P53 社会通念～割合 P46 教育の場合～割合	これらの目標値を、前計画の具体的数値から「上昇」「減少」などの傾向表現にした理由は何ですか？	具体的な目標数値の設定が困難であることから、国や県の目標設定を参考に、「上昇」・「減少」といった表現に変更しました。
6	P28 働く女性は増えているものの、男性と比べて非正規雇用の割合が高く、賃金も低い状況が続いています	これは本町の状況で課題なのでしょうか？全国的な兆候でしょうか？前者であれば「全国的に」などと付けておいた方が、誤解を招かないのではないかと思います。	ご指摘を踏まえ、「全国的に」を追記しました。
7	P31 女性の人材に関数情報の収集・提供	情報共有を図り活躍の機会を広げるという“情報共有”は、どこで図るのでしょうか？	ご指摘を踏まえ、「町内に広く情報共有を図り」と修正しました。
8	P31 育児休業を取得した経験がある人の割合及び介護休業を取得した経験がある人の割合	指標として男性の割合に限られています。ワーク・ライフ・バランスの視点からいうと、女性の取得割合も指標とすべきでは。	ご指摘を踏まえ、女性の取得割合も指標として追記しました。
9	P35 男性の家事・育児・介護への参画促進	男性に対する啓発の推進に限られていますが、女性の中にも「女性がすべき」という認識があるのではないのでしょうか。「私だけがやらなくてもいいんだ！」と思えて、男性	家事・育児・介護については、女性自身の中にも「女性が担うもの」という認識が残っている場合があることは理解しております。一方で、本町で実施したアンケート調査に

		に参画を積極的に提案出来るように、男女問わず啓発を推進すべきでは？	<p>において、これらの分野の役割が依然として女性に偏っている現状が明らかになっています。そのため、まずは家庭内における夫婦の役割分担について見直しが進むことが重要であると考え、計画案では男性の参画促進を重点的に位置づけております。</p> <p>なお、「男女問わず意識の変革が必要である」という点については、本町としても重要な視点であると認識しており、各種啓発の取組においては男女双方に働きかけてまいります。ご指摘を踏まえ、取組の内容を「男性の家事・育児・介護への参画に関する啓発の推進」とし、文章中に「男女双方への」啓発を行うと記載しました。</p>
10	P35	家庭教育に関する啓発の推進、親子のより望ましい関係を気づくということが、どう男女共同参画に関与するのでしょうか？	<p>家庭は、子どもが最初に出会う「社会」です。親子関係を基に、子どもが性別にかかわらず互いを尊重し、役割を分かち合うことは、共に支え合う社会の土台となると考えます。</p>
11	P36 仕事優先の暮らし方の見直しや家庭での責任を男女ともに担う意識づくりによって、地域活動に積極的に参画しよう	<p>現役世代にとって、地域活動に積極的に参画するには、まずは仕事を優先して安定した生活を確保することが必要です。家庭での責任を男女で共有することが、地域活動に積極的に参画できる意識や環境づくりにつながるという流れも疑問です。幅広いことを1つの分の中で語りすぎでは？もう少し丁寧に誤解を生まない表現を工夫していただきたいです。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、「性別にかかわらず、様々な町民が地域活動に参加し、その力を発揮できるようにするためには、性別による役割分担意識を解消し、地域づくりに男女双方の視点を活かすことが重要です。また、地域活動へ参画しやすい環境を整えるためには、個人の意識改革だけでなく、地域、企業等も含めたワーク・ライフ・バランスに関する意識改革も必要です。」と修正しました。</p>
12	P41 相談窓口の周知を図る	<p>まずは第一歩として、この計画の中、たとえばP42の余白にでも、相談窓口に関する情報を掲載しておいてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、巻末の参考資料に相談窓口に関する情報を追加しました。</p>
13	P42	<p>評価指標として、窓口の認知度を削除したのはなぜですか？</p>	<p>削除の方向で検討していましたが、ご指摘を踏まえ従来通り掲載します。</p>
14	P43 子どもが成人した後も続くひとり親をはじめとする貧困の子育て世帯	<p>子どもが成人しても、“子育て世帯”という扱いは変わらないのでしょうか？ひとり親をはじめとする貧困の子育て世帯は、子どもが成人した後も貧困が続く傾向がある、ということでしょうか？</p>	<p>ご指摘を踏まえ、「ひとり親家庭をはじめとする貧困の子育て世帯は、子どもが成人した後も貧困が続く傾向があり、そうした世帯や、不安定な就業を継続せざるを得ない単身・高齢者女性に対する支援が必要です。」と修正しました。</p>

15	P46 妊娠・出産に関する情報提供の充実	文章の中に、妊産婦や保護者の各種相談に応じ、とあります。不妊について相談する方も対象とすべきではないでしょうか。「妊産婦や保護者等」など、そういった方も相談いただきたいというメッセージが伝わる表現が良いのではないのでしょうか。	ご指摘を踏まえ、「妊産婦や保護者等」と修正しました。
16	P47 女性と男性では災害から受ける影響に違いが生じることに配慮し、避難所運営や避難所運営マニュアルの作成に努める	マニュアルの策定は既にされているのではないのでしょうか。「女性と・・・生じることに配慮するなど多様な視点を取り込んだ避難所運営マニュアルを適宜見直すとともに」や、「～運用に努めるとともに」などが適切では？	ご指摘を踏まえ、「女性と男性では災害から受ける影響に違いが生じることに配慮し、避難所運営や避難所運営マニュアルに基づいた運用に努めるとともに、」と修正しました。
17	P49 男は仕事、女は家庭・・・否定的な考えを持つ人が上回っています	肯定的が 12.0%、否定的が 68.9%と、大きく差があるので、「大きく上回っています」という方が、単に上回っているのではないということが伝わるのでは。	ご指摘を踏まえ、「大きく上回っています」と修正しました。
18	P52	学校などにおける男女平等教育・学習の推進が、引き続き、とありますが、他の取組も“引き続き“が大前提としてあるものがほとんどなので、あえて‘引き続き“をここだけ書かなくても良いのでは。 また、参観日や講演会などを活用するということは、対象は保護者なのではないでしょうか？しかし発達段階に応じた、とあるので、子ども対象なのではないでしょうか？両方対象とすると、子どもに対する発達段階に応じた男女平等への意識啓発を行うとともに、保護者に対しても研修効果を狙います。など、表現を工夫してはどうでしょうか。	ご指摘を踏まえ、「引き続き」を削除するとともに、「参観日や講演会などを活用し、子どもに対する発達段階に応じた男女平等への意識啓発を行うとともに、保護者に対しても研修効果を狙います。」と修正しました。
19	P52 新しい生涯学習の分野が誕生しているため	男女ともに生涯学習に参加しやすい環境づくりに寄与するということであれば、「新しい生涯学習の分野も取り入れて」というのがよりすんなり理解できそうです。	ご指摘を踏まえ、「e スポーツなどの新しい生涯学習の分野も取り入れて、男女共に参加しやすい環境づくりを推進します。」と修正しました。
20	P52 姉妹・友好交流都市と	ハワイ州カウアイ島以外にもあるのでしょうか？ここだけであれば、「姉妹島の協定を結んでいるハワイ州カウアイ島と」としてはどうでしょうか。	いただいたご意見は今後の参考とさせていただきますが、記載は原案のままとします。
21	P55	パートナーシップ宣言制度を導入している県や県内の他自治体をはじめ“と連携し“、性の多様性を認め合う住みよい環境づくりに向けた連携を図ります	ご指摘を踏まえ、「パートナーシップ宣誓制度を導入している県や県内の他自治体と連携し、性の多様性を認め合う

			住みよい環境づくりに向けた連携を図ります。」と修正しました。
22	P55	町が“情報“発信する広報等について際には、	ご指摘を踏まえ、「町が情報発信する際には、」と修正しました。